

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地													
麻生外語観光&製菓専門 門学校		平成3年1月8日		竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 03-6734-2939													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地													
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999													
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士														
文化・教養	文化教養専門課程	英語コミュニケーション科		平成22年文部科学省 告示第31号	—														
学科の目的	グローバル社会において、必要とされるプレゼンテーションスキルとコミュニケーション能力を備え、様々な業界で使える英語を身に付けた人材の育成を目的とする。																		
認定年月日	平成27年2月17日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技												
2年	昼間	1885時間	165時間	1750時間	40時間	0時間	0時間												
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数													
80人		76名	3名	2人	11人	15人													
学期制度	■前 期:4月1日~8月31日 ■後 期:9月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価														
長期休み	■夏 季:8月 7日~9月9日 ■冬 季:12月22日~1月8日 ■春 季:3月15日~4月 3日			卒業・進級 条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。 学科責任者との面談、三者面談の実施。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有														
就職等の 状況	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 航空、旅行、ホテル、一般企業 等 ■就職指導内容 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言 を与える。 ■卒業生数 19 人 ■就職希望者数 16 人 ■就職者数 16 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 84.2 % ■その他 ・留学: 2人 (平成 29 年度卒業者に関する 平成30年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実用英語技能 検定試験2級</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>TOEIC(IP) 500点以上</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	実用英語技能 検定試験2級	③	19人	12人	TOEIC(IP) 500点以上	③	19人	11人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
実用英語技能 検定試験2級	③	19人	12人																
TOEIC(IP) 500点以上	③	19人	11人																
中途退学 の現状	■中途退学者 4 名 平成29年4月1日時点において、在学者72名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者68名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更による退学、経済的理由による学業継続困難等 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等			■中退率 5.6 %															
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・経済的理由により学修困難である者に対して授業料を減免する。 ・東日本大震災により被災して進学が困難になった者を対象に、入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																		
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																		
当該学科の ホームページ URL	http://www.asoju.ac.jp/aftc/subject/communication/																		

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により実践的かつ専門的な職業教育を実施することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生を対象とする「お客様アンケート」結果と教育課程編成委員との意見交換により、企業視点を軸としてグローバル社会において必要とされる知識・技能の修得を目指す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専攻分野における市場動向や地域産業振興の方向性等に関する意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。尚、委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

カリキュラム会議では、教育課程編成委員会の審議内容を基に、授業科目の改善や新規開設、授業内容や方法の改善を検討する。これにより専攻分野で必要とされる知識・技能の修得を可能とする質の高い教育の提供を目指す。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
長 加奈子	福岡大学 准教授	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	②
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	③
金 大義	社韓進インターナショナルジャパン福岡空港事業部 事業部長	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	③
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク人事部 次長一人材開発担当	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	③
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	③
和田 菜穂	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	
野々村 賢一	麻生外語観光&製菓専門学校 英語コミュニケーション科専任教員	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員
(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時)

平成29年度 第1回 平成29年6月21日 16:00～17:00
 平成29年度 第2回 平成29年10月18日 15:30～16:30
 平成30年度 第1回 平成30年6月20日 16:00～17:00

(開催日時 予定)

平成30年度 第2回 平成30年10月17日 15:30～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

インバウンド観光客が増加する中、当然英語によるコミュニケーション能力は必要不可欠であるが、それだけではなく更に異文化理解や業界専門知識並びにスキルの習得が必要とされているとの意見が出された。そのような人材を育成するためのカリキュラム構成や、企業インターンシップなどによる就業体験の必要性に関する意見も頂いた。特に「企業インターンシップ」(選択科目)は、企業連携科目で得た知識の実践の機会と位置づけ、受入れ先企業様からの指導・評価を受けることで学内での学習との相乗効果を図っていると評価していただいた。これらの意見を受けて、今年度より、インターンシップ先を観光業界のみならず教育や官公庁とも連携し、市場ニーズを把握する材料とすることとした。

また、委員会の意見として、現場における英語の四技能の中でもとりわけリスニング能力が大きく求められる傾向があるとの指摘があり、既存科目である総合英語の中でよりリスニング力を強化できるようシラバス改訂を行った。プロジェクトベースドラーニングでは、アルク教育社監修の元、インバウンド観光客が増加する福岡においてビジネスシーンで必要となる英語マニュアルのようなものをデータベース作成する方向で現在協議を進めている。今後も社会が求める実践的なカリキュラムとなるよう適宜見直しを行う。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。グローバル社会において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業と学校による教育委託契約書により、企業が選任した講師による演習を実施する。教育カリキュラムの設定並びに変更にあたっては企業と学校とで事前に協議を行い決定する。評価はレポート課題の提出状況や内容を踏まえた総合評価とするが、評価基準については事前協議の上で設定する。

【授業科目】 インバウンド概論

【授業開設の目的】

外国人との接点が多いサービス産業において、日本人として求められるグローバル対応能力の醸成と実践

【授業科目】 プロジェクトベースドラーニング

【授業開設の目的】

学習を能動的なものと規定し知識の暗記にみられる受動的なものを脱却するために、自ら課題を発見し解決していく能力を身につける。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
インバウンド概論	21世紀の国際観光産業について、訪日外国人観光客をめぐる最近の動きや外国人から見た日本の観光資源についての概要を掴み、アメリカ系ホテルビジネスや外資系航空会社の日本戦略についても学ぶ。また、外国人から見た九州観光の魅力について調査し、プレゼンテーションを行う。	株式会社ブライトウェイ 株式会社トップスタッフ
プロジェクトベースドラーニング	英語に関する教材などの実務例をベースに、現在のトレンドを踏まえてグループワークでプロジェクトを立ち上げ、内容のプレゼンテーションを行う。	株式会社アルク教育社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

グローバル人材として求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、さらに即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規程」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。

定期的な企業からのヒアリングや各種研修会に参加し情報収集することにより、社会の動向を常に把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 人事・研修担当者向けセミナー
連携企業等: 一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会
日程: 平成29年11月8日(水) 14:00~16:00
内容: TOEIC導入企業の事例紹介・TOEIC教育第一人者英語教育コンサルティング会社代表の講演会
対象: 教員2人

研修名: グローバル人材育成プログラム体験セミナー
連携企業等: アルク教育社
日程: 平成29年12月1日(金) 13:00~16:00
内容: グローバルビジョンプログラム講義・グローバル人材育成研修事例報告
対象: 教員3人

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: カウンセリング I 研修
連携企業等: 日本交流分析協会 (講師: 廣田 哲成氏(准教授))
日程: 平成29年5月17日 16:00~17:30
内容: カウンセリングにおける傾聴の技法、体験実習、個別面談の心得
対象: 教員2人

研修名: 教育コーチング研修
連携企業等: 全国専門学校教育研究会(講師: 鈴木 建生氏(ユマニテク短期大学副学長))
日程: 平成29年8月23日~24日
内容: 効果的な言葉がけの基本・コーチングの基本姿勢と人間観、信念等ロールプレイ等のアクティブラーニング
対象: 教員1人

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 使える英語の効果的習得法
連携企業等: 一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会
講師: 千田 潤一先生(株アイシーシー代表取締役)
日程: 平成30年6月5日(火) 15:30~17:00
内容: TOEICの効果的学習方法の紹介、スコア別英語トレーニングの実践
対象: 教員1名

研修名: 企業が求めるグローバル人材像と社会を見据えた大学英語教育~TOEIC Programの様々な活用方法~
連携企業等: 一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会
講師: 米子 哲朗氏(山九株式会社 取締役兼常務執行役員)、早瀬 博範氏(佐賀大学副学長・全学教育機構長)
日程: 平成30年9月15日(土)
内容: 特色あるグローバル人材育成の取り組みとTOEIC Programの効果的活用と活用事例の共有
対象: 教員1名

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 初年次教育セミナー
連携企業等: 株式会社進研アド
日程: 平成30年7月25日(水) 15:00~17:30
内容: 専門学校入学生の特徴並びに分析報告・教材開発のプロによる指導法講座・課題解決のポイント整理
対象: 教員1名

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5) 学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	ADの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

委員会では、英語学習の必要性だけでなく学習内容を実践する場を学生に提供し、社会貢献、地域貢献活動の一助となることで自身の成長を実感させることが重要であるとの指摘をいただいた。その提言を踏まえ、自治体との産学協働による語学ボランティアに参画させることとした。成果のイメージとして、学校の持つ学生指導のノウハウを活かした人材育成、学習を推進する体制の拡充、自治体が推進する国際化地域戦略を反映し、イノベーションを量産する「産学融合ボランティア」の実現を明確化することとした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
堀部 豊和	平成23年度 トラベルビジネス科 卒業生	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	卒業生
高島 妙美	平成21年度 ホテル・リゾート科卒業生	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	自治会長
甲斐 直樹	福岡県立稲築志耕館高等学校 校長	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	高校
長 加奈子	福岡大学 准教授	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	教育機関
野中 昌	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	団体
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	団体
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	団体
加藤 博志	九州B.M.C.会長	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	団体
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	団体
錦邊 千恵子	ANA福岡空港株式会社旅客サービス部 旅客サービス3課	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	企業
大内田 諭	ANA福岡空港株式会社グランドサービス部 ライトハンドリング2課	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	企業
小林 俊裕	日本通運株式会社福岡支店 九州グローバルロジスティク企画 次長	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	企業
木村 弘	トップスタッフ株式会社九州支店 主任	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	企業
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン福岡空港事業部 事業部長	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	企業
森山 光	株式会社アルク 福岡支店 支店長	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	企業
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長一人材開発担当	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	企業
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	企業
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	企業
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	企業
細溝 亮太	株式会社JTB 福岡在中 人事チーム グループリーダー	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	企業
安藤 大介	高見株式会社 九州営業部 部長	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	企業
山下 輝美朗	株式会社 石村萬盛堂製造本部新宮工場 工場長兼洋菓子部次長	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	企業
廣瀬 義幸	ペイ・バスク オーナーシェフ	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/>

公表時期:平成29年9月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、ASOの考え方、6つの特徴
(2)各学科等の教育	学科コース一覧、国家資格・検定、就職情報、入学案内
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動、サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費サポート、学習支援、各種支援制度
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計画書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(学生便覧))

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/aftc/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 英語コミュニケーション科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Speaking skills I A	生活の中で身近な場면을題材とした教材を用いて、トピックごとに基本語彙や文法を復習しながら、英語での表現を練習し、ペアワークを行う。	1前	60	4	△	○		○	○	○	○	
○			Speaking skills I B	生活の中で身近な場면을題材とした教材を用いて、トピックごとに基本語彙や文法を復習しながら、英語での表現を練習し、ペアワークを行う。	1後	60	4	△	○		○	○	○	○	
○			Listening & Pronunciation I A	同化・脱落などの英語の音声変化の基礎について学び、身近な題材をもとにリスニングの演習を行い、英語の音声の聞き取りに慣れる。	1前	30	2	△	○		○	○	○	○	
○			Listening & Pronunciation I B	音読やシャドーイングなどの演習を通して、英語の自然なリズムやイントネーションに慣れ、フレーズごとに英語を理解する演習を行う。	1後	30	2	△	○		○	○	○	○	
○			Basic Writing and Reading	英文を書くために必要な文法と基礎的な構文について学び、テーマについての自分の考えを英語で書く基礎を養う。	1前	30	2	△	○		○	○	○	○	
○			Practical Writing and Reading	日常の出来事に関する英語のジャーナルを書くことを通して、語彙力を高め、英語のスピーチを作成するための基本的なライティングスキルを習得する。	1後	30	2	△	○		○	○	○	○	
○			Presentations A	シナリオスキル・デリバリースキルなどのプレゼンテーションの基礎について学び、英語で自分の意見を発表する練習を行う。	1前	30	2	△	○		○	○	○	○	
○			Presentations B	自分が選んだテーマに関して、リサーチを行い、英語での発表資料を作成し、英語で発表することを通して、プレゼンテーションスキルを総合的に習得する。	1後	30	2	△	○		○	○	○	○	
○			English Recitation	英語のポエムを題材として、英語の発音・リズム・イントネーションなどについて学び、暗唱する。	1後	30	2	△	○		○	○	○	○	
○			英語検定対策 I A	英検一次試験対策に重点をおいて、必要なボキャブラリー・イディオムの習得、文法事項、長文読解、またCDによる聴解練習などを中心に学習し、模擬練習問題及び過去の試験問題を練習する。	1前	90	6	△	○		○	○	○	○	
○			英語検定対策 I B	英検一次試験対策に重点をおいて、必要なボキャブラリー・イディオムの習得、文法事項、長文読解、またCDによる聴解練習などを中心に学習し、模擬練習問題及び過去の試験問題を練習する。	1後	90	6	△	○		○	○	○	○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			総合英語ⅠA	高校までの基本的な文法や語彙を確認しながら、英文読解・リスニング・英作文の演習を行い、英語の基本的なスキルを習得する。	1前	60	4	△	○		○		○		
○			総合英語ⅠB	高校までの基本的な文法や語彙を確認しながら、英文読解・リスニング・英作文の演習を行い、英語の基本的なスキルを習得する。	1後	60	4	△	○		○		○		
○			インバウンド 概論	訪日外国人観光客をめぐる最近の動きや外国人から見た日本の観光資源についての概要を掴み、アメリカ系ホテルビジネスや外資系航空会社の日本戦略についても学ぶ。	1前	30	2	△	○		○		○	○	○
○			一般教養ⅠA	国語、読解能力、数学、英語、社会時事知識を中心とした基本的教養を学習する。	1前	30	2	○			○			○	
○			一般教養ⅠB	国語、読解能力、数学、英語、社会時事知識を中心とした基本的教養を学習する。	1後	30	2	○			○			○	
○			サービス接遇 A	サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、対応の技術、敬語、態度などについて学び、サービスに対する考え方や行動の形を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			サービス接遇 B	サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、対応の技術、敬語、態度などについて学び、サービス接遇検定の受検の対策を行う。	1後	30	2	○			○			○	
○			コミュニケーション 技法	人間関係において必要、且つ複雑な仕組みによってなりたっているコミュニケーションを、効果的に実施できるような技能・技術・態度を習得し、コミュニケーション検定3級取得を目指す。	1前	30	2	△	○		○			○	
○			GCBⅠ	社会生活におけるマナーや協働の重要性について学び、周囲への感謝と思いやりを持って行動することを促す。	1前	15	1	△	○		○			○	
○			社会教養ⅠA	ライフプランとキャリアプランを立てさせ、就職試験に備え、自己分析、業種と職種を理解、企業研究、面接練習を行う。	1前	15	1	△	○		○			○	
○			社会教養ⅠB	ライフプランとキャリアプランを立てさせ、就職試験に備え、自己分析、業種と職種を理解、企業研究、面接練習を行う。	1後	30	2	△	○		○			○	
○			就職対策	企業の方の就職講演、筆記試験、ペン字など、就職活動の準備として必要となる基本的な心構えやスキルについて学ぶ。	1後	15	1	△	○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Excel	Microsoft Excel®を用いて、ビジネス社会における簡単なワークシートの作成とデータの入力について学び、Excel検定3級の対策を行う。	1後	60	4	△	○		○	○			
○			Intensive English Learning Program	韓国にある英語村において、韓国の大学生とともに、集中的な英語学習プログラムに参加する。	1後	40	1	△	○			○	○		
		○	企業インターンシップ	旅行会社、ホテル、ブライダルなど、各業界にてインターンシップを体験することで、職種を理解し、自分に足りないものに気づく。	1後	40	1			○		○	○	○	
○			Speaking skills II A	場面シラバスにおいて、依頼・助言・交渉などの英語の機能に焦点を当て、表現能力を高める練習をする。	2前	60	4	△	○		○		○	○	
○			Speaking skills II B	場面シラバスにおいて、依頼・助言・交渉などの英語の機能に焦点を当て、表現能力を高める練習をする。	2後	60	4	△	○		○		○	○	
○			Listening & Pronunciation II A	様々な教材を用いた多様なタスクの演習を通して、リスニングの目的に応じて、必要な情報を効果的に聞き取るストラテジーについて学ぶ。	2前	30	2	△	○		○		○	○	
○			Listening & Pronunciation II B	ニュースやスピーチなどの高度な教材を使って、トップダウン的に要旨をつかみ、内容を推測しながら包括的に英語を理解する演習を行う。	2後	30	2	△	○		○		○	○	
○			Hospitality English	ホテルや空港などで、お客様に接するときの丁寧な英語表現や、クレーム処理や悪いニュースを伝えるときの英語表現など、接客の場面に応じた適切な英語表現を学ぶ。	2前	30	2	△	○		○		○	○	
○			Debate & Discussion	各自が選んだテーマに関して、リサーチを行い、自分の意見を発表するための英語のプレゼンテーション資料を作成し、英語での意見交換を行う。	2後	30	2	△	○		○		○		
○			Speech	2年間の英語学習の集大成として、各自の研究テーマを決めてリサーチを行い、英語でのスピーチを作成して発表する。	2前	60	4	△	○		○		○		
○			Graduation Report	スピーチに関連したテーマについて、英語での論文作成を行い、まとめた内容について英語でプレゼンテーションをする。	2後	60	4	△	○		○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			英語検定対策ⅡA	英検一次試験対策に重点をおいて、必要なボキャブラリー・イディオムの習得、文法事項、長文読解、またCDによる聴解練習などを中心に学習し、模擬練習問題及び過去の試験問題を練習する。	2前	90	6	△	○		○	○			
○			英語検定対策ⅡB	英検一次試験対策に重点をおいて、必要なボキャブラリー・イディオムの習得、文法事項、長文読解、またCDによる聴解練習などを中心に学習し、模擬練習問題及び過去の試験問題を練習する。	2後	60	4	△	○		○	○			
○	A		通訳入門	通訳の際必要となる高度な英語運用能力や日本語での説得力ある話法を身につける。また、話し手の要点と考えを正確かつ迅速に把握する能力を身につける。	2前	30	2	△	○		○	○			
○	B		総合英語Ⅱ	英語のビジネス文書やニュースの記事を題材として、様々なタスクを通して英語の4技能(読む・聞く・話す・書く)を総合的に身につける。	2前	30	2	△	○		○	○			
○			General English	映画を通して、リスニングの演習を行うとともに、決まり文句や現代英語などすぐに使える英語を学び、世界の異文化、民族、思想について考える。	2後	30	2	△	○		○	○			
○			ニュース英語	インターネット、英字新聞などの中から身近なニュースを使って、重要語句や表現方法について学び、内容の要約やディスカッションを行う。	2後	30	2	△	○		○	○			
○			プロジェクトベースドラーニング	英語に関する教材などの実務例をベースに、現在のトレンドを踏まえてグループワークでプロジェクトを立ち上げ、内容のプレゼンテーションを行う	2後	15	1	△	○				○	○	○
○			一般教養ⅡA	時事教養や基本的教養を基に、SPI試験、適性試験などの演習をおこなう。	2前	30	2	○			○	○			
○			一般教養ⅡB	時事教養や基本的教養を基に、SPI試験、適性試験などの演習をおこなう。	2後	15	1	○			○	○			
○			ビジネス実務A	社会人としての心構えと言葉づかい、電話応対、来客応対、訪問のマナーなどのビジネス実務について学ぶ。	2前	30	2	△	○		○			○	
○			ビジネス実務B	名刺の渡し方やお茶出しなどの、社会人として求められるマナーを実践的に身に付ける。	2後	30	2	△	○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			GCB II	多くの成功者たちの考え方や、力のあるメッセージに触れることによって、自らの「志」について考える。また、歴史・世界情勢・日本の課題に向き合い、自分たちの置かれている環境を認識する。	2前	15	1	△	○		○	○			
○			社会教養ⅡA	会社訪問や面接試験を受ける際の事前準備、訪問・面接試験後の振り返りと反省をし、就職試験に向けての準備を行う。	2前	45	3	△	○		○	○			
○			社会教養ⅡB	比較的身近な話題に関するインタラクティブディベートの活動を通して、批判的思考を身につけ、発信力や傾聴の姿勢を育てる。裁判所見学、博物館見学などのアクティブラーニングを通して、社会文化的な教養を身につける。	2後	30	2	△	○		○	○			
○			Word	ブラインドタッチを含むパソコンの基本操作について学び、Microsoft Wordを用いて簡単なビジネス文書処理を行うための実践的な技能を修得する。	2前	60	4	△	○		○	○			
○			パワーポイント技法	PowerPointの基本操作、スライド作成、アニメーション設定を学習し、課題発表を通して実践的なプレゼンテーションスキルを習得する。	2後	30	2	△	○		○	○			
合計			48科目		1885単位時間(124単位)								

※選択必修科目については、AかBのどちらかを選択する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。